

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公表番号】特表2013-500661(P2013-500661A)

【公表日】平成25年1月7日(2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-001

【出願番号】特願2012-522170(P2012-522170)

【国際特許分類】

H 04 N 7/32 (2006.01)

H 04 N 7/30 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

H 04 N 7/133 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のブロックに分割された画像のシーケンスを表す符号化されたデータのストリームを復号する方法であって、

現在のブロックに対して予測ブロックを決定するステップと、

前記予測ブロックの平均を計算するステップと、

前記ストリームから前記現在のブロックに関連するDC係数およびAC係数を再構築するステップと、

前記予測ブロックの前記平均と前記DC係数とから前記現在のブロックの平均を計算するステップと、

前記現在のブロックの前記平均と前記予測ブロックの前記平均との比である重み付け予測パラメータを計算するステップと、

DC係数として零(ゼロ)と前記再構築されたAC係数とを含む係数のブロックを残差ブロックに変換するステップと、

前記残差ブロックと前記重み付け予測パラメータによって重み付けされた前記予測ブロックとを統合することによって前記現在のブロックを再構築するステップと、  
を含む、前記方法。

【請求項2】

前記現在のブロックの前記平均を計算するステップにおいて、前記予測ブロックの前記平均は、前記符号化されたデータのストリームから復号された初期重み付け予測パラメータによって重み付けされる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記現在のブロックの前記平均を計算するステップにおいて、前記予測ブロックの前記平均は、前記現在のブロックの近傍の平均と前記現在のブロックに関連付けられた参照ブロックの対応する近傍の平均との比に等しい初期重み付け予測パラメータによって重み付けされる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

符号化されたデータのストリーム内の複数のブロックに分割された画像のシーケンスを

符号化する方法であって、

前記現在のブロックに対する予測ブロックを決定するステップと、

前記予測ブロックの平均と前記現在のブロックの平均とを計算するステップと、

前記現在のブロックの前記平均と前記予測ブロックの前記平均との間の予測エラーを計算するステップと、

前記予測ブロックの前記平均および順次量子化され逆量子化された予測エラーから前記現在のブロックの補正された平均を計算するステップと、

前記現在のブロックの前記補正された平均と前記予測ブロックの前記平均との比である重み付け予測パラメータを計算するステップと、

前記重み付け予測パラメータによって重み付けされた前記予測ブロックを前記現在のブロックから抽出することによって残差ブロックを決定するステップと、

前記残差ブロックをDC係数およびAC係数に変換し、該AC係数を量子化し、前記量子化された予測エラーおよび該量子化されたAC係数をエントロピー符号化することによって前記符号化されたデータのストリーム内の前記残差ブロックを符号化するステップと

、

を含む、前記方法。

#### 【請求項5】

前記予測エラーを計算するステップにおいて、前記予測ブロックの前記平均は初期重み付け予測パラメータによって重み付けされ、該初期重み付け予測パラメータは符号化されたデータの前記ストリーム内に符号化される、請求項4に記載の方法。

#### 【請求項6】

前記現在のブロックが属する前記画像の部分に対して、

第1の平均と称する前記画像の前記部分の平均を決定するステップと、

第2の平均と称する前記現在のブロックに関連付けられた参照ブロックが属する対応する前記画像の部分の平均を決定するステップと、

前記第1の平均と前記第2の平均との比である前記重み付け予測パラメータを計算するステップと、

に従って、前記初期重み付け予測パラメータが決定される、請求項5に記載の方法。

#### 【請求項7】

前記画像の前記部分は前記画像の全体である、請求項6に記載の方法。

#### 【請求項8】

前記画像の前記部分は画像スライスである、請求項6に記載の方法。

#### 【請求項9】

前記予測エラーを計算するステップにおいて、前記予測ブロックの前記平均は、前記現在のブロックの近傍の平均と前記現在のブロックに関連付けられた参照ブロックの対応する近傍の平均との比に等しい初期重み付け予測パラメータによって重み付けされる、請求項4に記載の方法。

#### 【請求項10】

複数のブロックに分割された画像のシーケンスを表す符号化されたデータのストリームを復号する復号器であって、

現在のブロックに対して予測ブロックを決定する手段と、

前記予測ブロックの平均を計算する手段と、

前記ストリームから前記現在のブロックに関連するDC係数およびAC係数を再構築する手段と、

前記予測ブロックの前記平均と前記DC係数とから前記現在のブロックの平均を計算する手段と、

前記現在のブロックの前記平均と前記予測ブロックの前記平均との比である重み付け予測パラメータを計算する手段と、

DC係数として零(ゼロ)と前記再構築されたAC係数とを含む係数のブロックを残差ブロックに変換する手段と、

前記残差ブロックと前記重み付け予測パラメータによって重み付けされた前記予測ブロックとを統合することによって前記現在のブロックを再構築する手段と、  
を備える、前記復号器。

**【請求項 11】**

符号化されたデータのストリーム内の複数のブロックに分割された画像のシーケンスを符号化する符号化器であって、

前記現在のブロックに対する予測ブロックを決定する手段と、

前記予測ブロックの平均と前記現在のブロックの平均とを計算する手段と、

前記現在のブロックの前記平均と前記予測ブロックの前記平均との間の予測エラーを計算する手段と、

前記予測ブロックの前記平均および順次量子化され逆量子化された予測エラーから前記現在のブロックの補正された平均を計算する手段と、

前記現在のブロックの前記補正された平均と前記予測ブロックの前記平均との比である重み付け予測パラメータを計算する手段と、

前記重み付け予測パラメータによって重み付けされた前記予測ブロックを前記現在のブロックから抽出することによって残差ブロックを決定する手段と、

前記残差ブロックをDC係数およびAC係数に変換し、該AC係数を量子化し、前記量子化された予測エラーおよび該量子化されたAC係数をエンタロピー符号化することによって前記符号化されたデータのストリーム内の前記残差ブロックを符号化する手段と、  
を備える、前記符号化器。